

ブウツ ええ、そうしてぼくいい考えを思いつきました。

宿屋の亭主 いい考えと……？

ブウツ 北風は、つまり、ぼくたちの御飯をよこどりしたんです。——だから、ぼく、北風のところへ行ってかけあつたほうがいい。——かけあつてかえしてもらつたほうがいい。——そう思いつきました。

宿屋の亭主 なるほど。

ブウツ すぐに、ぼく、出かけようと思つたんですけれど、おかアさんが、今夜はいけない、あしたの朝におしとிட்டんです。——それからその晩はねて、あくる日の朝、おてんとさまの出るのを待ちかねてうちを出ました。——そうして北風のふいてくるほうへ、ふいてくるほうへと顔をむけてまっすぐにあるきました。

宿屋の亭主 そうして、とうとうおあい……

ブウツ そうです。——そうしてとうとうあいました。——あつてかけあいました。

宿屋の亭主 ………

ブウツ このティブルかけさえあれば、もうおかアさんも、ぼくも、一生こまりません。——「北風」のおじいさんは親切です。——ほんとうに親切です。

宿屋の亭主 うちの楡ぬれの木をふき倒たおしたのはあれはだれだ？——北風のやつじゃアなかったか？

宿屋のかみさん そうです、北風です。……

宿屋の亭主 よよし。——じゃア、おれも、あした北風のところへ行ってやる。——そうして、おれも、楡ぬれの木のかわりになにかもらつてきてやる。

ブウツ (たべおわる) ああうまかつた。——お腹がいっぱいになった。……

宿屋の亭主 もうおしまいでございますか？

ブウツ とてもそうはたべきれません。——まだたくさん残っています。——あと、そちへ持つて行ってたべてくれませんか？

宿屋の亭主 ごちそうになつていいでしょうか？

ブウツ よござんすとも。——とても、それは、すてきですよ。

宿屋の亭主 じゃア、ま、えんりよなくいただきます。

宿屋の亭主、かみさん、ふたりでもうひとつのティブルに皿をみんな運ぶ。

宿屋の亭主 このティブルかけは……？

ブウツ ああ、それはぼくがします。(亭主からうけとつて大切にまたかくしのなかにいれる)——お腹がいっぱいになつたら眠ねくなつた。部屋へもうつれていってくれませんか。——ぼくは